



「つながる。ハーベスト」第1弾
大人座 (札幌市)
五十嵐 慎一郎 氏



「人と人・地域が繋がる、ベストな場所 (ハブ) が北海道にはあるというところで、つながる。ハーベストを題し、道内のオスメのワーク施設とそこで出会いを創り出すコンシエルジュをご紹介するインタビューシリーズ。

その第1弾として、大人座の五十嵐慎一郎さんにお話を伺いました。

「大人座」とは？

「まずは、この「大人座」のコンセプトについてお聞きしたいのですが。」

「様々な出会いが生まれるカオスな秘密基地」ですかね。以前、東京で「the SNACK」という「ワーキングスペース」を運営してました。起業家やクリエイターなど様々な人が出入りして「こんなことやろうよ」とどんどん新たなプロジェクトやビジネスが生まれていたんです。地元の札幌でそういった化学反応を起こしている場所はとて少ない気がして。地元につくりたいな、つくっちゃおうと(笑)

「フットワークの軽さですね。」

「「ワーキングスペース」というと行きづらいついいうか、名前を知らない人も多いですし、行っていいのかな? となる人もいると思うので、小難しい

場所じゃなくて、「大人座」っていう面白そうなカフェバーがあるから行ってみよう!となる場をつくらうという気持ちでやっていますね。

「どういう人に来て欲しいというのはありますか?」

なんかちよっとチャレンジしたいなとか、もつと面白い人に会いたい!という人だとより楽しく使っていただけじゃないかなと。あと、道外の人が札幌に遊びに来るときにも、立ち寄る拠点として使ってもらって、札幌の面白い・面白い場所とつながるきっかけにして欲しいというのはあります。

「大人座から「つながる。」エピソード

「大人座を通じた人と人とのつながりで、新しい取組が生まれたなど、そういったエピソードをお聞かせ下さい。」

今座っているカウンターの席で生まれたのが「あしたのしあたま」というプロジェクトです。「口ナ禍で色んなイベントが中止になる中で、それでも皆で楽しめることをやりたいねと飲みながら話していた、その時のアイデアの一つが、「ドライブインシアター」でした。その場で、「いいね、それやろうよ!」と地図サイトで大きな駐車場と白い壁がある場所を探すと、いざスタートでした(笑)

「ここで探したんですね(笑)」
その後、映画関係者はじめ賛同してくれる仲間も増えて、道内6箇所ドライブインシアターを開催しました。また、札幌にある芸術の森を舞台に、ラジオ



「大人座」でインタビューに応じる五十嵐氏。内装には白樺が使われており、北海道らしさを感じられる。

電波で音楽を配信して、皆がイヤホンで聴きながら楽しむ「世界一静かなフェス」等の企画は、本当にここで飲みながら話していたのが形になったものです。

「こうやって企画が生まれる場所があるのは、五十嵐さんやスタッフあってこそと思いますが、運営にあたって心がけていることはありますか?」

そうですね。なっちゃん何かありますか?」

(スタッフのなっちゃん) 来たお客様とコミュニケーションをとるようにしています。どんなことしているかとか、その人を知るといことは、特にカウンターに座られたら話せるので、それも楽しいなと思います。

「スタッフから積極的にコミュニケーションをとっていただける場所ということですね。」

「混んでない時は(笑) あと、スタッフ含め僕たちも、来てくれた人やつながった人と一緒に楽しむようにしています。」

つながる。HUB
コワーキングカフェ&バー 大人座 OTONAZA

仕事にも遊びにも使えるカフェ&バー。日中はコワーキングカフェとして、夜は人との交流を楽しむ「緩やかな」会員制のバーとして利用できます。もちろん、終日Wi-Fi&電源の利用が可能です◎



住所：札幌市中央区南1条西1丁目3 板谷ビル8階 (地下鉄大通駅37番出口から徒歩1分)
HP：www.otonaza.com
※営業時間等詳細はHPをご確認ください。

★耳より情報★

本記事を見て、大人座で人とのつながりを楽しみたいと思った人は、「五十嵐さんの記事みました!」と言えば、夜のパーティムもご来店いただけます。

大人座HP



つながる。
ヒト

株式会社大人 代表取締役社長
五十嵐 慎一郎 氏



小樽市出身。小中高を札幌で過ごし、東京大学建築学科卒業後、不動産関連のベンチャー企業に入社。新規事業として、銀座にコワーキングスペース「the SNACK」を立ち上げ。

2016年に独立し、株式会社大人を設立。大人座を始めとするコワーキングスペース運営の他、北海道移住ドラフト会議、サッポロビール(株)との「ほっとけないどう」プロジェクトなど、北海道から世界をちょっぴり面白くする活動に積極的に取り組んでいる。

地域と「つながる。」

「コワーキングスペースには、人々だけでなく、「地域とつながる」というイメージをお持ちの人もいらつしやると思います。大人座や運営されている「大人」さんでの、地域とつながるエピソードについて教えてください。

大人座は「ほっとけないどう」というプロジェクトの拠点になっています。サッポロビールの全面支援のもと、北海道で新たなチャレンジをする人のプレゼンイベントを定期開催してまして。大人座やオンラインで購入したドリンクの売上の一部が、登壇者に寄付される「カンパイ★ファンディング」という仕組みになっています。大人座で飲めば飲むほど、北海道の応援になっちゃうんです。



現在シフト入りしているスタッフは13名
スタッフが考案したドリンクも楽しめます！

まさに地域とのつながりを創り出す、ベストなハブの一回目としてふさわしいと思いつながら聞かせていただきました。

五十嵐さんは「北海道移住ドラフト会議」などにも取り組んでおられますが、ご自身はどういうきっかけで北海道でのお仕事をスタートされたのですか。

「札幌移住計画」というプロジェクトを2014年に立ち上げたのがはじまりです。自分自身が30歳前後になり、東京でバリバリ働いている中で、ふと見えてくる地元の北海道や札幌がやっぱりいいなという思いと、一方で、地元でいろいろな取組が行われているけど、まだ地域の魅力を活かしきれないよなという思いがありました。折良くパソコン1台あればどこでも働ける時代になってきて、札幌に戻れたらいいなとか、行きたいなと思っている人も沢山いるし、その人達をつないで盛り上げる活動を続けてきました。そんな中で鹿児島島のチームが思いついたドラフトという形式が面白くない？それめっちゃいいね！北海道でもやろう！と動き出したのが、「北海道移住ドラフト会議」ですね。

リアル
コミュニケーション

いま、コロナ禍やテレワークの進展でオンライン会議も増えている中で、リアルでの「コミュニケーション」も大事かと思えますが、その辺の思いはありますか？

WMFで探せばなんでも情報はあつて、つながろうと思えば誰でもつながれるはずなんですけどね。ただやっぱり、動物的な部分があるのかなと思つていて。直で話して生まれる部分とか熱量とか、フィードバックというのは、やっぱりリアルな場の面白さだと思います。あとは偶然性って大事ですよ。たまたま来たら、たまたまカウンターに座つていた人とノリがあつてというの、リアルな場の面白さだと思いますし、好きですね。

おススメ！

大人座のフードメニュー



『スペシャルパルフェ』
ミシュラン一つ星「TATEOKA TAKESHI」とのコラボパフェは、いちご、フランボワーズ、ブルーベリーにパルサミソースをかけた見事なマリアージュ♪



『自由大人のフレンチトースト』
東京・自由が丘にある「パンとエスプレッソと自由形」の食パンを使ったカリカリふわふわのフレンチトースト。こちらの食パンは、北海道産小麦で作られています♪

※メニューは変更となる場合がありますが、常時魅力的なフード&ドリンクを堪能することができます！

最後に、このインタビューを見て、道外や札幌市外から来られる人に向けてメッセージをお願いします。

この数年で札幌も北海道もめちゃめちゃ動きが加速していると思うんですね。若い新しいプレイヤーが続々できてきますし、そのプレイヤー同士がこの数年でかなりつながつたと思います。道外から遊びにくる人がいらつしやれば、是非色々な地域でチャレンジしている人たちと会つてもらいたいですし、こんな面白い人が地域にいますんだと知つてもらえると、北海道をより楽しめると思うので、是非単なる観光じゃない、もう一歩踏み込んだ北海道滞在をしてもらえるとうれしいです。

ありがとうございました！これにて、第1回目の「つながる。ハーベスト」を終わりたいと思いますが、次のインタビュー先として、ベストな場所(ハブ)をご紹介いただけないでしょうか？

素敵な場所が続々と増えていきますよね。今回は厚真町の「イチカラ」を紹介させていただきます。多様な利用者がいて、地元の中高生がWMFを使つたり勉強している一方で、地域のおじいちゃんおばあちゃんまで遊びにくる。しかも運営している成田くんが道内外のプレイヤーと沢山つながっているの、官僚からスタートアップの社長、フリーランサーまでが全国から集まるつていう意味で凄いハブだと思います。

というところで、次回は「厚真町コミュニケーションスペースイチャカラ」の成田さんにお話しをお伺いします。お楽しみに！